



# 「未来の当たり前」を一緒に創りませんか。

国際戦略局通信規格課長

**中越 一彰** NAKAKOSHI Kazuaki

- 平成 8年 4月 郵政省採用
- 同 電気通信局電気通信事業部電気通信技術システム課
- 平成 10年 7月 同 大臣官房人事部人材開発課
- 平成 11年 7月 同 通信政策局技術開発推進課推進係長
- 平成 12年 8月 同 通信政策局通信規格課標準推進係長
- 平成 13年 1月 総務省情報通信政策局通信規格課標準推進係長
- 平成 14年 8月 同 情報通信政策局技術政策課総合調整係長
- 平成 15年 8月 同 総合通信基盤局電気通信事業部データ通信課専門職
- 平成 16年 5月 外務省在サンフランシスコ日本国総領事館領事
- 平成 19年 7月 独立行政法人情報通信研究機構企画戦略室  
プランニングマネージャー
- 平成 21年 4月 総務省情報流通行政局情報流通振興情報セキュリティ対策室  
課長補佐
- 平成 22年 7月 同 情報通信国際戦略局通信規格課課長補佐
- 平成 23年 7月 同 総合通信基盤局電波部移動通信課課長補佐
- 平成 25年 10月 同 総合通信基盤局電波部基幹通信課課長補佐
- 平成 26年 11月 慶應義塾大学准教授
- 平成 29年 4月 総務省情報通信国際戦略局技術政策課企画官
- 平成 30年 8月 農林水産省大臣官房広報評価課調査官
- 令和 2年 7月 総務省総合通信基盤局電波部電波政策課国際周波数政策室長
- 令和 3年 7月 国立研究開発法人情報通信研究機構経営企画部統括
- 令和 4年 6月 内閣官房内閣サイバーセキュリティセンター内閣参事官
- 令和 5年 7月 現職



## 「当たり前」を支えているもの

現在、家電量販店には様々なメーカーのスマートフォンが並べられ、利用者は気に入ったスマートフォンを購入できます。そして、そのスマートフォンを使って、世界中の情報にアクセスすることはもちろん、自ら情報を発信して世界中の人と繋がるのが「当たり前」になっています。この「当たり前」を支えているものの一つが「国際標準」です。

## 総務省が求めている人材

情報通信分野で新しく登場する技術が、国民生活や社会経済活動の「当たり前」を創造する源になっており、総務省はそれらの「国際標準」

を担っています。私は携帯電話やADSL等のブロードバンドが本格的に普及し始めた2000年と、スマートフォンやSNS等のオンラインメディアの影響力が拡大し始めた2010年に国際標準を担当しました。そして現在、生成AI等のAI技術が様々な分野で活用され始めているほか、量子情報通信技術の実現に向けた取組が進められている中、新しい技術の国際標準化に取り組んでいます。

新しい技術を活用して、安心・安全な国民生活の実現、我が国の国際競争力の強化、少子高齢化や環境問題などの社会的課題の解決等を図るため、総務省では、民間企業、学界、消費者団体等の様々な分野の専門家や有識者の結節点となり、多様な観点からの意見を踏まえて、政策を立案・推進しています。総務省が担う役割はとてもチャレンジングであり、やりがい

を感じられるものだと思います。総務省では、その役割を果たすため、論理的に物事を考えて合理的な方向性を示すことができる技術的な素養をもつ人材を求めています。

## 「未来の当たり前」に向けて

総務省に入省すると、約2年の間隔で様々な部署や組織を経験していきます。私自身も様々な組織に向かう機会を得て、環境や文化が異なる組織での経験を通じて多面的な視点を養うことができました。また、出向先組織で得た知識や人脈は何ものにも代え難い大きな財産であり、日々の業務を進める際の支えになっています。

総務省では、「実現したらいいな」と思い描かれていることを「未来の当たり前」にするため、

多面的な視点や多くの人脈を活用しながら、国内外の関係者と協力して最先端の取組を進めています。次代を担う皆さんと総務省で一緒に仕事をすることを楽しみにしています。

## 若手職員の声



国際戦略局通信規格課

**川畑 樹大**

(令和5年入省)

通信規格課は、情報通信分野における標準化活動の推進をはじめとした、幅広い業務を扱っています。私は、2023年にドバイにて開催された国際会合への参加をはじめとした会合対応や、日本として進めるべき国際標準化施策の検討等に携わっております。入省初年度から国際会合への対応といったやりがいのある仕事に多く触れられ、充実した日々を過ごしています。

中越課長は、打合せ等では、達成すべきことをしっかり示し、丁寧に論理立てて、やるべきことをわかりやすく伝えてくださいます。課長の仕事ぶりから、日々学びながら業務に取り組んでいます。

## PROJECT

## 国際標準化活動の推進

情報通信分野では、国内外の多種多様なネットワークや端末機器が相互につながってサービスが提供されているため、サービスを提供する際の具体的な手順やデータの形式等を国際的に共通化(国際標準化)する必要があります。国際標準化は、新たな製品やサービスの創造・拡大や価格の低廉化等につながる重要な取組であり、国際電気通信連合等が策定するデジュール標準だけでなく、民間主導で進められているフォーラム標準など、様々な国際標準化活動に各国の政府機関や民間企業等が参加しています。

我が国の国際標準化活動をどのように推進していくべきか、第一線で活躍されている多くの方々と議論しながら、日々の業務に向き合っています。